



I-OPEN
PROJECT 21
REPORT

I-OPENER'S VOICE

メンタリング参加者の想い

希少疾患と闘う患者家族の負担を減らす
ニッチ製品開発に挑戦しています

入江 由美子



男女問わず最期まで自分らしく
美しく生き切れる社会を実現したい

大平 智社緒 株式会社 RingsCare

AIをはじめとしたデジタルテクノロジーで
廃棄ゼロのサステナブルなファッションを実現したい

川崎 和也 Synflux 株式会社 代表取締役社長



デザインが持つ美と共感の力で、
様々な社会課題や地域課題を解決したい

小菅 隆太 特定非営利活動法人 イシュープラスデザイン 理事

お腹を空かせたこどもに飯を奢る！
そんな当たり前のことをスマートにできる
文化を作りたい

吉田 田 タカシ まほうの다가しや チロル堂



音楽を通して聴覚障がい者が孤立しない
"インクルーシブな社会を実現する"

中村 俊貴(DJ TOSHIKI) 一般社団法人 NEIRO 代表理事

役割を終えた屋外広告を素材化し、社会に循環さ
せるエコシステムの実現したい

守田 篤史 株式会社ペーパーハレード アートディレクター



脳のデトックスに効果のある玄米食を通じて、
人々の健康と持続可能な社会の実現に貢献したい

大塚 三紀子 株式会社実身美 代表取締役

日本の発酵技術を使ったフェアトレードで造る
チョコレートで、カカオ農家、消費者、そして
社会の三方良しのエコシステムを実現したい

山下 貴嗣 株式会社βace
Minimal - Bean to Bar Chocolate - 代表



心と身体に寄り添ったインスタント味噌汁で
患者をウェルネスへ導きたい

柳田 頼人 株式会社メディセプト 代表取締役社長

I-OPEN
PROJECT 21

スタートアップ企業、非営利法人や個人事業主の方の体験談及び専門家のサ
ポーター、有識者のアドバイスから、社会課題への取り組みについて共に考
える特許庁主催で開催された「I-OPEN PROJECT 21 フォーラム」。メンタリン
グに参加した I-OPENER の気づきや成果を元に、専門家のサポーターと有識
者の対話を通して、社会課題解決に使える知財活用の可能性を紐解きました。



INDEX

令和3年度に参画したI-OPENER の活動の概要

- 株式会社特定非営利活動法人イシュープラスデザイン
- 入江由美子
- 株式会社実身美
- 株式会社Synflux
- 一般社団法人NEIRO
- 株式会社ペーパーパレード
- まほうの駄菓子屋 チロル堂
- 株式会社β ace Minimal - Bean to Bar Chocolate -
- 株式会社メディセプト
- 株式会社RingsCare

社会の課題に、市民の創造力を。

issue + design



特定非営利活動法人
イシュープラスデザイン
小菅 隆太

<https://issueplusdesign.jp/>

デザインが持つ美と共感の力で、社会や地域の課題解決を実現するため、 商標権を活かして、社会課題解決プロジェクトを広めることを目指す。

特定非営利活動法人イシュープラスデザインは、「社会の課題に、市民の創造力を」をテーマに、さまざまな社会課題をデザインの力で解決するための研究・実践を手がける社会課題解決プロジェクトを実施。商標権を活用しながら、このプロジェクトを推進し、多くの人たちとつながり、社会や地域の課題解決を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 商標を中心に過去に取得済みの知的財産権を整理
- 今後の知的財産権の管理体制の構築を検討
- 社会課題解決に向けた活動を広く普及、周知するために知財を活用したソーシャルデザインや広報戦略を検討

知的財産の保護・活用

- 商標権を活用し、社会課題解決に向けた活動を普及・拡大
(商標登録第6374169号：issue + design)

I-OPENER's voice

「デザインが持つ美と共感の力で、様々な社会課題や地域課題を解決したい」

量産モデル試作の作り方



個人
 入江 由美子

希少疾患と闘う患者家族の負担軽減に役立つニッチ製品の開発に挑戦。意匠権を活かして製造販売を委託するビジネスモデルを探索。

乳幼児期の特定の先天性疾患の治療過程における、乳幼児が鼻の中に入れて使う治療器具の使いにくさの解決に着目。治療器具の固定テープの開発・事業化を検討、知財保護方針を策定。テープの普及による患者家族の負担軽減を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 固定テープに関する製品デザイン、プロトタイプを検証、患者家族の抱える課題の解決と量産ニーズを検証
- パートナー企業に製造・販売を委託することを想定したビジネスモデルを検討
- 固定テープに関する3件の意匠出願を検討、テープメーカーによるアイデア採用/事業化につなげる交渉条件の洗い出し/意匠権ライセンスを含む契約事項を検討

知的財産の保護・活用

- 意匠権ライセンスを含む契約締結
 （意匠登録第1719854号・第1718732号・意願2021-24255号）

I-OPENER's voice

「希少疾患と闘う患者家族の負担を減らすニッチ製品開発に挑戦しています」



brown rice & vegetable

株式会社実身美
大塚 三紀子

<https://sangmi.jp/>

健康と持続可能な社会のために玄米食を提供する定食レストランを展開。 知財を活かして玄米や健康的な食事を広める活動の持続的实施を目指す。

株式会社実身美は、人々の健康と持続可能な社会の実現のため、減農薬にこだわった「玄米」を中心に、野菜をふんだんに使った食事が楽しめる定食レストランを展開。商標権などの活用を探求しながら、玄米や健康に良い食事を広める活動を続けていく。

I-OPENで取り組んだこと

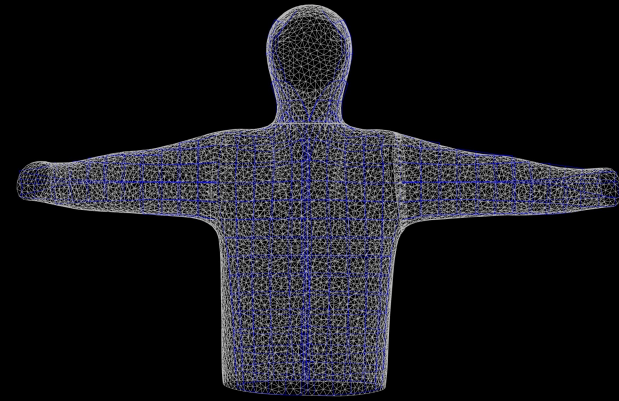
- 社会課題解決への想いを踏まえた中長期的な事業計画を検討、事業方針を踏まえたターゲットユーザーを再整理
- 機能性食品開発のパイオニアである大学と連携したブランド構築を検討
- 大学との共同開発成果の将来的な特許出願やビジネスモデル関連の特許出願の可能性を探索
- 食品効能に訴求した呼称で活動を広めるための商標出願を検討

知的財産の保護・活用

- 商標権を活用した模倣対策（模倣対策のための知財活用の検討）
（商標登録第6610578号：プチアディ）

I-OPENER's voice

「脳のデトックスに効果のある玄米食を通じて、人々の健康と持続可能な社会の実現に貢献したい」



Synflux株式会社

川崎 和也

<https://synflux.io/about>

第41回毎日ファッション大賞
 新人賞・資生堂奨励賞受賞

廃棄布を削減するためにファッションデザインのソフトウェアを開発。 特許権を複数者で共有してファッションの新たな生産システムを目指す。

Synflux株式会社は、環境負荷の高い衣服づくりのシステムを変革するため、機械学習アルゴリズムと3DCGを応用したファッションデザインのためのソフトウェアを開発。極小化された資源量で衣服製造を可能とし、廃棄される端切れを削減。特許権を活用して想いに共感する多くの企業と連携し、ファッションの新たな生産システム構築を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 特許クリアランス調査やIPランドスケープなどを活用した自社の強み、方向性を整理
- ファッション産業のあらゆるプレイヤーと共に社会課題に取り組むために知財戦略・ビジネス戦略を策定
- コア技術に係る特許出願の検討

知的財産の保護・活用

- Background IP の取得による自社ポジションの確立
 （特許第7240059号他）
- 特許技術ライセンス契約締結などによるパートナーとのアライアンス構築

I-OPENER's voice

「AIをはじめとしたデジタルテクノロジーで、廃棄ゼロのサステナブルなファッションを実現したい」

音楽を通して聴覚障がい者が孤立することのないインクルーシブな社会を実現するために、商標権を活かして活動の機会を広げることを目指す。

一般社団法人NEIROは、聴覚に障がいがある人が音楽・スポーツなどのエンターテインメントや遊びを通して、様々なコミュニケーションをとる機会をつくること、また聴覚に障がいをもつ方と聴者がお互いの理解を深めるための活動に取り組む。商標権の取得・活用を通じて、活動の機会を広げることを目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 目指す方向性、活動目的、独自性の可視化と資金調達のためのビジネスモデルを検討
- 難聴障がい者に広めていくためのブランディング・PRを検討
- 振動発光デバイス「Ontenna (オンテナ) ®」との共同プロジェクトの状況を整理、資金化に向けた契約交渉を検討
- 商標調査や商標取得・活用を検討

知的財産の保護・活用

- ブランディングによる活動機会の拡大

I-OPENER's voice

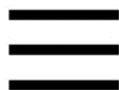
「音楽を通して聴覚障がい者が孤立しない”インクルーシブな社会を実現する”」

一般社団法人NEIRO
 中村 俊貴 (DJ TOSHIKI)

<https://www.neiro.or.jp/>



PARADE



株式会社ペーパーパレード
守田 篤史

<https://paperparade.tokyo/>

循環させるエコシステムを社会に広げるために、商標権などを活かして、役割を終えた屋外広告を素材化するサービスの普及を目指す。

株式会社ペーパーパレードは、「デジタルとフィジカルの境界を横断しながら紙や印刷の新しい価値を生み出すこと」をテーマに事業を展開。役目を終えた屋外広告を素材化するサービスについて、認証制度を活用したプラットフォーム構築や、商標権を活用したブランディングを推進し、社会に循環させるエコシステムを実現を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 経営デザインシートを活用して事業戦略・知財戦略を策定
- 認証制度を使った海外展開も視野にいたれたオープン・プラットフォーム構築を検討
- 再利用する素材プラットフォームのブランディング・PRを検討
- 素材プラットフォームに関する商標出願、特許出願を検討

知的財産の保護・活用

- 商標権を活用したブランド保護と取組拡大
(商標登録第6724618号：openmaterial)

I-OPENER's voice

「役目を終えた屋外広告を素材化し、社会に循環させるエコシステムを実現したい」

貧困や孤独といった恵まれない環境にある子供たちを地域で支えるため 商標権を活かして「まほうのだがしやチロル堂」を展開。

まほうのだがしやチロル堂は、貧困や孤独といった環境にある子供たちを地域で支えたいという思いから始まった駄菓子屋という仕組み。そして、この仕組みを利用して支え合うための地域のコミュニティ。この思いや仕組みに共感し、運営したいという人々（コミュニティ）に商標権を活用しながら活動を広げることを目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 事業のユニークさ、強み、課題の洗い出し、方向性を整理
- 活動のコアとなるコンセプトの言語化とブランディング及びPR戦略を検討
- 活動の拡大に向け、ライセンス等を視野に入れた商標出願「チロル堂」を検討

知的財産の保護・活用

- 商標権を活かしたオープン・ライセンス・プログラムの構築・実施（守り拡げる）
（商標登録第6746010号：チロル堂）

I-OPENER's voice

「お腹を空かせたこどもに飯をおごる！
そんな当たり前のことをスマートにできる文化を作りたい」



まほうの駄菓子屋 チロル堂
吉田 田 タカシ

<https://www.tyroldo.com/>

 GOOD DESIGN AWARD

[地域で子ども達の成長を支える活動 \(g-mark.org\)](http://g-mark.org)





株式会社 β ace

Minimal - Bean to Bar Chocolate -

山下 貴嗣

https://mini-mal.tokyo/pages/welcome_minimal

カカオ産業の持続可能な経済的自立のため、知財のオープンクローズ戦略などの実践を通じて、フェアでエシカルなビジネスを展開。

Minimal は、良質なカカオ豆から職人の手仕事が生み出すBean to Bar Chocolateを提供。知財のオープンクローズ戦略などを実践しながら、技術支援やフェアでエシカルなビジネスを展開。カカオ産業の持続可能な経済的自立を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- フェアトレード実現に向けたSDGs活動、活動周知化のためのPR戦略及びブランディングを検討
- カカオ豆から原材料を生産する技術、長期貯蔵技術、ビジネスモデルに関する特許出願を検討
- SDGs活動／IP等無形資産の可視化とコーポレートガバナンスコードへの対応を検討

知的財産の保護・活用

- オープンクローズ戦略の実践（長期貯蔵技術に関するノウハウ等を営業秘密として管理）

I-OPENER's voice

「日本の発酵技術を使ったフェアトレードで造るチョコレートで、カカオ農家、消費者、そして社会の三方良しのエコシステムを実現したい」

OMISO ◆ NOMORI
おみその森株式会社メディセプト
柳田 頼人<https://omisonomori.com/>

透析や高血圧の患者の心と身体に寄り添ったインスタント味噌汁の開発。 特許権や商標権を活かして製造・販売計画策定し、ウェルネスを目指す。

株式会社メディセプトは、文化的な生活をささえる「地域インフラ企業」を目指し、在宅医療・在宅看護を中心に、医療・介護・福祉分野の事業を展開。透析患者等の心と身体に寄り添った塩分コントロールされた味噌を開発。特許権や商標権を活用しながら、製造・販売計画を策定し、患者をウェルネスへ導くことを目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 味噌蔵と共同開発をするための契約スキームを検討、ビジネスモデルを言語化
- 素材選定、最低限の製造ロット、パッケージ技術など量産化に向けて具体的なスタディ
- インスタント味噌汁のパッケージ検討に際しての素材メーカーとのマッチングを検討
- インスタント食品関連のIPランドスケープ及びクリアランス調査を踏まえて特許・商標出願を検討

知的財産の保護・活用

- 特許権、商標権を踏まえた製造・販売計画の策定・実施
(特許第7330553号：減塩味噌の製造方法)
(商標登録第6617626号・第6664095号・第6693979号：omiso no mori、はるひ、いきいきSUN)

I-OPENER's voice

「心と身体に寄り添ったインスタント味噌汁で、患者をウェルネスへ導きたい」

男女問わず最期まで自分らしく美しく生き切れる社会を実現するために 商標権を活かして看護と美容を融合させた「新しいケア」の価値を普及。

株式会社RingsCareは、「病気や障がいがあっても一人ひとりのいのちの輝きを支え続ける」ために、高齢者向けに美整容ケアサービスを展開。「ケアの理想」「ケアの価値」を理解しやすく、覚えやすいネーミングに落とし込み、商標権を活用することによって、多くの人の記憶に残り、ケアの質の担保に繋げることを目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 事業の現状分析、自社の強みの言語化を通じた活動理念を明確化
- 事業拡大に向けたサービス内容を洗練化
- 事業により提供する価値のブランディング、ネーミングを検討

知的財産の保護・活用

- 商標出願を行い、後に法人を設立し社名としても採用
 （商標登録第6641760号：RingsCare）
- 商標権の有効活用によるサービスの質（他との差異化）を担保した普及化・周知化を推進

I-OPENER's voice

「男女問わず最期まで自分らしく、美しく生き切れる社会を実現したい」



株式会社RingsCare
 大平 智祉緒

<https://ringscare.com/>

I-OPEN